

**野洲市民病院**  
3月16日開催  
**議会特別委員会**

# 現病院敷地内の「建替え」を市長が断念 根拠ない主張の破綻



写真はNHKニュースから(16日)

**公正な政策選択選挙だったのか 市長の責任は極めて重大です**  
市長の「立て替え断念」に対して、工藤義明市議は、「昨年の市長選は、『駅前建設か、半額で現敷地での立替えか』が争

「建替えは事実上不可能」と新病院整備運営評価委員会の報告を受け、市議会・市民病院整備事業特別委員会が16日開催されました。同委員会で栢木市長は「建替え」の断念を表明しました。多くの議員がこれまでの混乱と混乱の進め方を批判。共産党市議団は、建替え不可能が明らかになったものと、市長は真摯に反省し、市民の願いに込められた駅前での建設に立ち戻るべきと求めました。

**駅前建設に立ち戻るべきです**

**混乱と混乱を真摯に反省し**

**駅前建設は市民と行政・議会が10年の議論で積み上げてきたもの**  
特別委員会でも市長は今後の病院整備について、「①現計画の駅前建設に戻ることはない、②市内3か所の市有地の中から建設地を選定し、令和7年に

点。しかし、この建て替え論は既に平成28年に専門家の調査により『不可能』と報告されていたもの。にもかかわらず、市長選で『建替え可能』を主張した。このように根拠ない主張で市民を誘導することは、公正な政策選択選挙を歪めるもので市長の政治責任は極めて重い」と厳しく指摘しました。

しかし、栢木市長は、「市長選の争点は、『駅前に賛成か、反対か』であり、市民は『駅前ノー』を選択した」と論点のすり替える答弁に終始しました。

共産党市議団は、市民のみならず市民の命と健康を守る駅前新病院の早期建設へ引き続きがんばります。

新病院を開院」の新たな方針を明らかにしました。  
野並享子市議は「現計画は10年間、市民参加で行政と積み上げてきたもの。市民や議会を置き去りにする進め方は許されない」として、建て替えが破綻した上は、当初の駅前建設に立ち戻るべきと求めました。また、新方針の病院建設はデザインビルド方式を検討していません。同方式は、設計・建設業務は業者丸投げで、市のチェックが効かず、事業費が膨れ上がる危険性があります。なにより、市民の要求が反映しなくなる恐れがあります。

新病院を開院」の新たな方針を明らかにしました。  
野並享子市議は「現計画は10年間、市民参加で行政と積み上げてきたもの。市民や議会を置き去りにする進め方は許されない」として、建て替えが破綻した上は、当初の駅前建設に立ち戻るべきと求めました。また、新方針の病院建設はデザインビルド方式を検討していません。同方式は、設計・建設業務は業者丸投げで、市のチェックが効かず、事業費が膨れ上がる危険性があります。なにより、市民の要求が反映しなくなる恐れがあります。

## 唐突で場当たりの「新方針」に強い不信

特別委員会で市長は新たな整備方針に基づき、「早期建設を進める」と言いながら、その整備案に対して、今後の方向を問う議員の質問に「課題を整理して検討する」の答弁の繰り返しでした。つまり、つじつま合わせの、余りにも唐突な提案で、とてもまともに検討された形跡がありませんでした。



**やす民報**  
日本共産党野洲市委員会  
2021年3月17日 No.401

**市政や市議会へのご意見  
ご要望をお寄せください**

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985  
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158  
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856

日本共産党野洲市委員会が見解を発表しましたのでお知らせします

ホームページをご覧ください  
共産党野洲市議団 検索